

# 自然遊学館 だより

1998冬号 (No. 15)

1998. 2. 18

## シリーズ『貝塚の昆虫(11)』

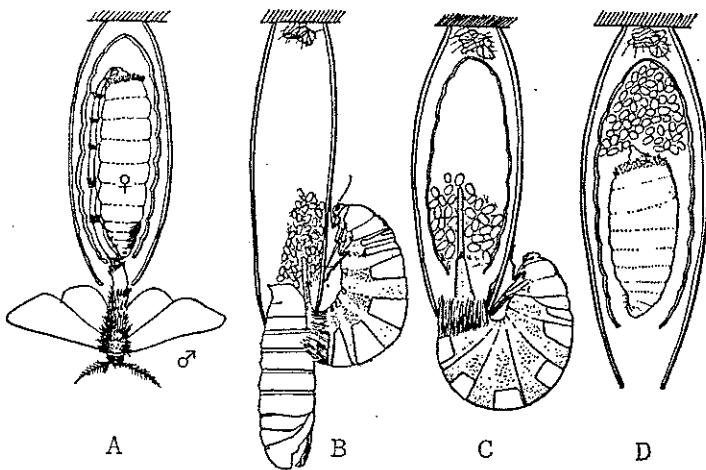
### ミノムシのはなし

最近各地でオオミノガの姿を見かけなくなったという話を聞きます。貝塚もその例外ではなさそうです。そこで貝塚で普通に見られる大型のミノムシ類について述べてみましょう。

わたし達がミノムシと呼んでいるものはミノガ類の幼虫のことです。この仲間の幼虫は、葉の細片や小枝の切れはしなどを糸でつづり、丈夫な移動できる巣を作ります。これを“ミノ”といいます。わが国にいるミノガの仲間の種類数は20種あまりといわれていますが、このほかにも名前

ない多くの小型種を含み、これから研究しなければならない分野です。

ミノムシの仲間の原始的なものは、♂♀ともはねをもっていて、普通のガのように飛び回ることができますが、より進化した種になると♀のはねは退化し、飛べなくなります。さらに進むと♀ははねもあしもないウジ状になり、一生ミノ中でサナギの殻から外に出ない生活を送るようになります。わたし達が普通目にするミノムシは、この最後の段階のものです。ミノガの仲間は、ミノの特徴で種名を知ることができます。普通に見られるミノムシには次ぎのようなものがあります。



ミノガ類の交尾と産卵姿勢

- A. 大型のミノガ類の交尾
- B. ♀はミノの外に出て、ミノの中に産卵する
- C. ♀はミノの下端から、サナギの殻の中に産卵する
- D. ♀はサナギの殻から脱出せず、サナギの殻の中に産卵する(幼虫はあしが退化しウジ状になる)

(三枝, 1961より)

## オオミノガ

日本で最も大きなミノガで、ミノの長さは40～50mmもあり紡錘形をし、枝からぶら下がっています。冬はミノの中で幼虫で過ごしますが、4月中旬頃になると、中の幼虫は上下を反転し、頭をミノの後端に向けさなぎになり、5月下旬～7月上旬に殻を脱いで成虫になります。♂は夕方飛び回りますが、♀はウジ状なので外には出られずミノの中で交尾、自分のサナギの殻の中に沢山の卵を産みます。幼虫は7～8月にかえり、ミノから出た幼虫は糸で垂れ下がり、風に乗って分散します。

分布：本州、四国、九州、沖縄。

## チャミノガ

ミノの長さは25～40mm。ミノはオオミノガより一回り小さく、表面に枯れた小枝片を10～20本縦に並べてつけ、円筒形に近い形をしています。またオオミノガのように枝にぶら下がることなく、枝や葉に固着しています。前種同様幼虫で冬を越しますが、翌年目をさますと葉を食べ、

5月頃サナギになり、6月上旬～7月中旬に羽化します。

分布：本州、四国、九州、台湾、中国。

## クロツヤミノガ (ミノガ)

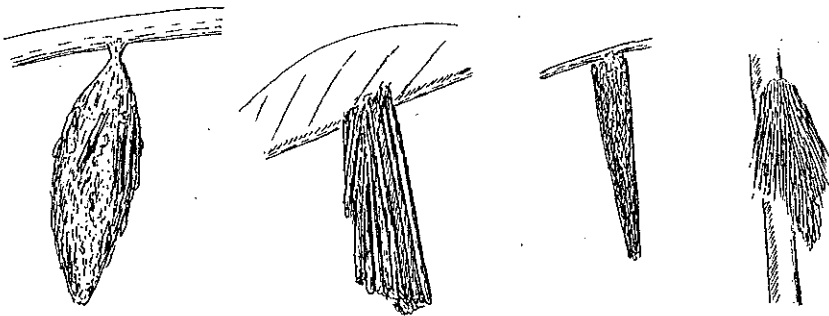
ミノは25～35mmで細長く、表面はややなめらかです。幼虫は、いろいろな樹木の葉のほか樹皮やコケをも食べます。幼虫で越冬。春ふたたび活動し、盛んに葉や樹皮を食べ、4月下旬にサナギになります。成虫は5月下旬から7月にかけて出現します。

分布：本州、四国、九州、沖縄。

## シバミノガ

名前の示すように、幼虫はシバやイネ科の雑草を食べます。ミノは長さ15～30mmで紡錘状をなし、表面にシバの葉を縦につけています。幼虫越冬で、翌春葉を食べ、6月にさなぎになり、6月下旬から7月にかけて盛んに成虫が出現します。

分布：本州（関東以西）、九州。



ミノのいろいろ

左からオオミノガ、チャミノガ、クロツヤミノガ、シバミノガ

## ミノムシは鳴くか？

昔からミノムシは鳴くということで、俳句の中にも出てきます。さてどんな風に鳴くのでしょうか。清少納言「枕草子」によると、「8月ばかりになれば“ちちよ、ちちよ”とはかなげに鳴く」と書いてあります。しかしミノムシが実際に鳴くわけではないので、別の虫が鳴くのです。それは樹上に住むカネタタキという体の長さが10mm程の小さなコオロギの仲間であるというのが定説になっています(松浦一郎, 1989)。チ、チ、チという声を聞き、声の主を探しても樹皮の下などにいるので見当たらず、付近にミノムシの姿があり、てっきりこれを声の主と思ったのでしょうか。ときには空のミノムシのミノの中に隠れていることがあるかも知れません。

(黒子 浩)

採集地：二色の浜

採集方法：打ち上げ採集

| 種名           | 採集日         |
|--------------|-------------|
| にしきうず科       |             |
| イシダタミ        | 1997. 8. 11 |
| ノボリガイ        | 1997. 8. 20 |
| コシダカガンガラ     | 1997. 8. 20 |
| ヘソワゴマ        | 1997. 8. 20 |
| カバサンショウガイモドキ | 1997. 8. 20 |
| トゲエビス        | 1997. 8. 28 |
| エビスガイ        | 1997. 9. 13 |
| ギンタカハマ(幼貝)   | 1997. 9. 13 |
| たまきびがい科      |             |
| タマキビ         | 1997. 8. 11 |
| シラギクガイ       | 1997. 8. 20 |
| ひめかたべ科       |             |
| ヒメカタベ        | 1997. 8. 20 |
| くるまがい科       |             |
| ハナゴシヨグルマ     | 1997. 9. 13 |
| たまがい科        |             |
| ツメタガイ        | 1997. 8. 11 |
| フロガイダマシ      | 1997. 8. 20 |
| エゾタマガイ       | 1997. 9. 13 |
| クダタマガイ       | 1997. 9. 13 |
| ざくろがい科       |             |
| ザクロガイ        | 1997. 9. 13 |
| うみうさぎがい科     |             |
| アヤメケボリダカラ    | 1997. 8. 28 |
| ツマニケボリ       | 1997. 9. 13 |

## 二色の浜での貝拾い

近木っ子探検隊のメンバーである鈴子さん一家は、毎年夏場を中心に、散歩がてら貝拾いにいそしんでいます。そして、夏休み恒例の自然遊学館行事「採集物の名前を調べる会」では、きまって貝を持参し、児嶋 格先生に同定してもらう熱心者です。今回、大阪市立自然史博物館の山西良平学芸員にも同定してもらったものも含めて、1997年に採集した貝の標本108種類のリストを掲載します。

|             |             |           |             |
|-------------|-------------|-----------|-------------|
| あくきがい科      |             | オガイ       | 1997. 9. 13 |
| イボニシ        | 1997. 8. 11 | ひげまきなわぼら科 |             |
| クリフレイシガイ    | 1997. 8. 11 | ネジヌキ      | 1997. 9. 13 |
| カゴメガイ       | 1997. 8. 20 | おりいれふよばい科 |             |
| アカニシ        | 1997. 9. 13 | ハナムシロガイ   | 1997. 8. 20 |
| ヨウラクガイ      | 1997. 9. 13 | アラムシロガイ   | 1997. 8. 11 |
| ほそすじちょうじがい科 |             | ムシロガイの仲間  | 1997. 9. 13 |
| ゴマツボ        | 1997. 9. 13 | たもとがい科    |             |
| スジウネリチョウジガイ | 1997. 9. 13 | ムギガイ      | 1997. 8. 11 |
| きりがいだまし科    |             | ノミニナ      | 1997. 8. 20 |
| ヒメキリガイダマシ   | 1997. 9. 13 | シラゲガイ     | 1997. 8. 20 |
| みつくちきりおれがい科 |             | そでがい科     |             |
| アラレキリオレの仲間  | 1997. 8. 20 | シドロガイ     | 1997. 8. 20 |
| キリオレガイ      | 1997. 8. 20 | ころもがい科    |             |
| たけのこがい科     |             | コロモガイ     | 1997. 8. 20 |
| イボヒメトクサガイ   | 1997. 8. 11 | おにのつのがい科  |             |
| シラタケガイ      | 1997. 8. 20 | シマハマツボ    | 1997. 8. 20 |
| しちくがい科      |             | くちべにがい科   |             |
| シュマダラキリガイ   | 1997. 9. 13 | マメクチベニガイ  | 1997. 8. 20 |
| くだまきがい科     |             | クチベニガイ    | 1997. 9. 13 |
| ヒメシャジク      | 1997. 8. 20 | クチベニデ     | 1997. 9. 13 |
| ウネダカモミジボラ   | 1997. 8. 20 | イナカクチベニガイ | 1997. 9. 13 |
| オハグロシャジク    | 1997. 9. 13 | ふねがい科     |             |
| マキモノシャジク    | 1997. 9. 13 | サルボウガイ    | 1997. 8. 11 |
| トウキョウコウシツブ  | 1997. 9. 13 | ハイガイ      | 1997. 8. 11 |
| みのむしがい科     |             | ヒメエガイ     | 1997. 8. 28 |
| ツクシガイ       | 1997. 8. 20 | ミミエガイ     | 1997. 8. 28 |
| えぞばい科       |             | マルミミエガイ   | 1997. 8. 28 |
| シワホラダマシ?    | 1997. 8. 11 | カリガネエガイ?  | 1997. 8. 11 |

|            |             |            |             |
|------------|-------------|------------|-------------|
| クイチガイサルボウ? | 1997. 9. 13 | ナミマガシワの仲間  | 1997. 9. 13 |
| コベルトフネガイ   | 1997. 9. 13 | いたぼがき科     |             |
| とまやかいかい科   |             | マガキ?       | 1997. 9. 13 |
| トマヤガイ      | 1997. 8. 11 | マガキ        | 1997. 9. 13 |
| フミガイ       | 1997. 8. 11 | イタボガキの仲間   | 1997. 9. 13 |
| いかいかい科     |             | まるすだれがかい科  |             |
| ムラサキイガイ    | 1997. 8. 28 | ウチムラサキガイ   | 1997. 8. 20 |
| ホトトギスガイ    | 1997. 8. 28 | オニアサリ      | 1997. 8. 28 |
| きくぎるかいかい科  |             | ヒメアサリ      | 1997. 8. 28 |
| サルノカシラ     | 1997. 9. 13 | アサリ        | 1997. 8. 28 |
| キクザル       | 1997. 9. 13 | サザメガイ      | 1997. 9. 13 |
| ケイトウガイ     | 1997. 9. 13 | ハナガイ       | 1997. 9. 13 |
| うみぎく科      |             | いたやかいかい科   |             |
| チリボタン      | 1997. 9. 13 | イタヤガイ      | 1997. 8. 20 |
| ウミギクの仲間①   | 1997. 9. 13 | ヒオウギガイ     | 1997. 8. 20 |
| ウミギクの仲間②   | 1997. 9. 13 | ニクイロナデシコガイ | 1997. 8. 20 |
| ちどりますお科    |             | アワジチヒロ     | 1997. 8. 20 |
| クチバガイ      | 1997. 8. 11 | キンチャクガイ    | 1997. 8. 20 |
| ばかいかい科     |             | アズマニシキ     | 1997. 9. 13 |
| ホクロガイ      | 1997. 9. 13 | かりばかさ科     |             |
| バカガイ       | 1997. 9. 13 | シマメノウフネガイ  | 1997. 8. 20 |
| もしおいかい科    |             | アワブネ       | 1997. 9. 13 |
| スタレモシオ     | 1997. 8. 11 | ヒラフネガイ     | 1997. 9. 13 |
| たまきいかい科    |             | からまつがかい科   |             |
| タマキガイ      | 1997. 9. 13 | カラマツガイ     | 1997. 9. 13 |
| みのがかい科     |             | ゆきのかさ科     |             |
| ウスユキミノ     | 1997. 9. 13 | シボリガイ      | 1997. 9. 13 |
| なみまがしわ科    |             | すかしがかい科    |             |
| ナミマガシワ     | 1997. 8. 28 | テンガイガイ     | 1997. 8. 20 |

|          |             |
|----------|-------------|
| クズヤガイ    | 1997. 8. 20 |
| ヒラスカシガイ  | 1997. 9. 13 |
| すずめがい科   |             |
| イソチドリ    | 1997. 8. 28 |
| ぞうげつのがい科 |             |
| ツノガイ類    | 1997. 8. 20 |
| ヤカドツノガイ  | 1997. 8. 20 |
| みみずがい科   |             |
| ミミズガイ    | 1997. 9. 13 |
| むかでがい科   |             |
| オオヘビガイ   | 1997. 8. 20 |
| ねずみのてがい科 |             |
| ネズミノテガイ  | 1997. 9. 13 |

(山田 浩二)

## 行事報告

1997. 11. 22(土) 於市民の森

トンボの池完成式 91名

園名板除幕式、餅つき他

1997. 11. 29(土)

市民の森のクモ調査 12名

講師 追手門学院大学 西川 喜朗教授

アダンソノハトリガモ、チャジノハトリガモ、ミスジハトリガモ、  
ネコハトリガモ、アリガモ、セアカゴケグモ、オホヒメグモ、ハナグモ、  
クワガタジグモ、ジョロウグモ、ウバキコモリガモ

1997. 12. 13(土) 於自然遊学館多目的室

ウィークエンドレッスン 23名

「海を渡るオオキンカメムシの謎」

講師 カメムシ研究会 竹本 拓哉氏

1997. 12. 20(土) 於コスモシアター

近木川フォーラム 304名

「よみがえれ！ふるさとの川」

ドキュメンタリー

「近木っ子探検隊がトンボの池をつくった」

出演者 近木っ子探検隊49名

1998. 1. 7(水) 於名越

春の七草摘み 73名

講師 グリーンカレッジ運営委員長 西村 静代氏

ワイドABCDE-す！生中継

自然遊学館だより

1998冬号 No.15

編集 白木 江都子

発行者 上久保 文 貴

発行所 自然遊学館

貝塚市二色3丁目26-1

休館日 毎週火曜日